

令和7年度 第9回庁議要点記録

日 時：令和7年7月14日（月）午前10時～10時30分

場 所：庁議室

出席者：市長、橋本副市長、塩野目副市長、教育長、政策部長、公共施設マネジメント担当部長、総務部長、市民生活部長、健康部長、福祉部長、子ども家庭部長、まちづくり部長、建設環境部長、教育部長、市政戦略室長、政策経営課長、議会事務局長、秘書課長、情報管理課長、デジタル行政推進室長、公共施設マネジメント課長、政策法務課長、財政課長、環境経営課長、会計管理者心得

議 題

○市長就任に当たって

橋本副市長： 令和7年度第9回庁議を開催します。本日は、丸山新市長の初登庁日となりますので、市長就任に当たっての挨拶をいただきます。市長お願いします。

市 長： 本日から本格的に市長の仕事をスタートさせました。どうぞよろしくお願いします。先ほどの就任式の内容と大筋では同じですが、重要なことをお伝えします。

1点目に、私はこれまで市議会議員として10年間仕事をしてきことを通じて、副市長・部長・課長をはじめ、職員の方々を大変信頼しています。その点は疑いを持っていませんし、国分寺市職員と他市を簡単に比較できませんが、その仕事ぶりや仕事への臨み方の点で決して劣後するものではないと強く思います。信頼する皆さんと共に、これから仕事を進めていきたいと思っています。

その上で皆さんにお願いがあります。今回の市長選挙において、他分野にわたる多くの政策を掲げました。これらは市民との約束であり、任期中に実行するつもりです。ロードマップという形で各部・各課でしっかりと具体的な仕事に落とし、いつまでに、どのように、どうやって進めていくのかについて、定点で把握をしながら報告いただき、進めていきたいと思っています。

また、皆さんからの具体的な提案や改善はしっかり受け、内容を適宜ブラッシュアップしていきたいと思っています。やる前からやらないという判断はありませんので、まずは着手するという共通認識にしたいと思っています。

そして2点目です。市を取り巻く前提条件についても、これまでに固執することなく改めて根本から見直してほしいと思っています。

例えば、金利について考えると、大体物価の上昇率が年3%から4%上がってきている状況が続いています。基本的に、この状況はこれからも続いていくと認識しています。例えば、物価がこれからも4%ずつ継続して上がることになれば、10年後にはそれは1.5倍になります。つまり、現状基金が50億円としているところが、その50億円の仕事をするために1.5倍の75億円の資金需要を見なければ対応することができないというように、前提条件が変わってきています。皆さんは、計画策定時に緻密な積算をしていただき、積み上げてきたものであると思います。その手法自体は大切にしながらも、根本の条件部分においては、状況が変わっていると認識し、資金の計画、人員の計画、固定費等も含めて、見直すべきところは見直していただきたいと思っています。

特に人件費については、これからはより多くの人員が必要になってくると感じています。市民ニーズも多様化しており、その中で、現状これだけの費用や人数が必要だということを言っていただきたいです。本当に厳しい状態になってから人を補充するのは、相当困難

になってくると思っています。今のうちから5年後、10年後にこういった態勢か、また見えていない部分があるのかどうかを、各部のトップに立つ皆さんが中心となって進めていただきたいと思っています。

さらに、そもそも市役所がやるべき仕事なのかどうかを考え、事業の縮小・撤退・統合についても、これから進めていかなければならないと思っています。計画についても今ある計画をフルスペックで取り組む必要があるのかどうかも含めて、踏み込んで活発に議論していただきたいと思います。私も知恵を絞って逃げることをせずに皆さんと共に議論していきたいと考えますので、率直な意見や提案をどんどんぶつけていただきたいと思っています。

BPRという言葉がよく使われていますが、若干言葉としては少し陳腐化している印象がありますので、どのように実施するのか、どこがそれを担うのかということについて、表現も含めて刷新感を出し、本当の意味での事業の見直しの指示・提案をしていきたいと思えます。実施はぜひ考えていただきたいですし、事業の見直しにおいては各部に丸投げして撤退だけしろ、辞めろということを行うつもりは全くありませんので、人事評価や進め方もしっかりと提示しながら、全庁一丸となって全体の中でしっかりと進めていきたいと思えます。

とにかく、目的意識と変化、スピード、これが私にとってのキーワードとなります。よく拙速は巧遅に勝るとい言葉のとおり、市役所はどうしても完璧にしっかりとやらなければならないということで、拙速にやると言った時には抵抗感を覚えると思うのですが、多くの仕事はだらだらゆっくりやれば、完成度が上がるというものでは必ずしもないだろうと思っています。法律や正しいルール手順というものに則して行うことは当然ですが、100%確信が持てないからやらないということではなく、抑えるルールは抑えた上で70%・80%で踏み込めることはしっかりと踏み込んで進めたいと思えます。

本日は私が長く喋っていますが、これも含めて、しっかりと皆で想いを共有することで、短縮や効率化できる場所が多くあると思えます。会議室では仕事は進まないと思っていますし、ぜひとも全体的なスピード感を意識してほしいと思えます。

最後に、私は自由闊達な職場を大変好みます。自由にものが言える環境を私は好んでいきたいと思っています。あまり年齢のことを言うつもりはありませんが、私自身が肝に銘じているところは、私は40代で人生経験としては今ここにお集まりの皆さんから見ても若輩者ですが、良い意味でそのように思っていますし、多くの市民の方から見ても足りないところが多くあると思っています。それであるからこそ、私は自分が成長していくつもりで、これからの10年間で成長期だと思い、様々取り組んでいくつもりです。ぜひとも意見をぶつけていただきたいと思えます。私からも分からないことは分からないと率直に皆さんにぶつけていきます。必ず皆さんから異論や意見があっても然るべきだと思えますし、しっかりと行っていただける方を評価したいと思っています。そのような方こそが、これから国分寺市をリードしていただけたらと思っていますので、ぜひとも、副市長・教育長も含め、私に対してその点は気兼ねなく意見を言っていただきたいし、そういった雰囲気から作っていただきたいと思っています。

最後にもう一つ、市民に対して言うべきことはしっかりと行っていただきたいと思えます。ハラスメントについてもそうですが、き然とした対応も必要だと思っています。そして何よりも、市役所に来る市民だけが市民ではありません。市役所や皆さんに対して意見を言う市民だけが市民ではないです。このことを皆さんは重々承知しているかと思えますが、私自身も大多数の声なき市民のニーズや声を背負って、今この仕事に就かせていただいています。その方々も含めた全体のために仕事をするものであると思っていますので、見えるところだけにとらわれずに、国分寺市として何が必要なのか、何を進めていくのか、このことについて改めて皆さんには力強く意識を持っていただき、私は全力で守り支えて

いきますので、その点も一緒に進めていきたいと思ひます。

この後、部課長会議がありますので、より詰めたお話をさせていただきたいと思ひます。本当に皆さんのお力が頼りです。一緒に良いまちを創りたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひします。

橋本副市長： ありがとうございます。しっかり今の言葉を踏まえて、支えていきたいと思ひますので、皆さんよろしくお願ひします。時間がありますので、皆さんから一言ずつ挨拶をお願ひします。

～～メンバー御挨拶～～

橋本副市長： 以上で庁議を終了します。